

2013年(平成25年)の貧酸素水塊(まとめ)

2013年の貧酸素水塊の分布およびその規模を図1～図3に示します。

貧酸素水塊の初確認は4月23日で、これはほぼ例年並みでした。

その後次第に底層のDOは低下し、5月～7月上旬にかけてしばしば1mL/L以下の海域が広範囲に分布しました。7月下旬～9月上旬は、年間で最も貧酸素化が強まり、北部の広い海域で継続してDO1mL/L以下が観測されました。

9月9日に年間最大規模(37%)を示しましたが(図2)、1998年以降は40%以上で推移していたので、今年の最大規模は最近10数年の中では低めでした(図3)。

9月中～下旬には、散発的に青潮が発生し、また台風の通過もありました。青潮による貧酸素水塊の海面への放出および台風による攪拌で貧酸素水塊の規模はこの時期に急速に小さくなりました(図2)。

10月以降はほぼ例年並みに貧酸素水塊が縮小し、11月下旬に解消が初確認されました。解消の初確認の時期は例年並みでした。

千葉県水質保全課によると、青潮は4回発生しました(6月2～6月4日、6月13～17日、9月11～9月13日、9月24～27日)。

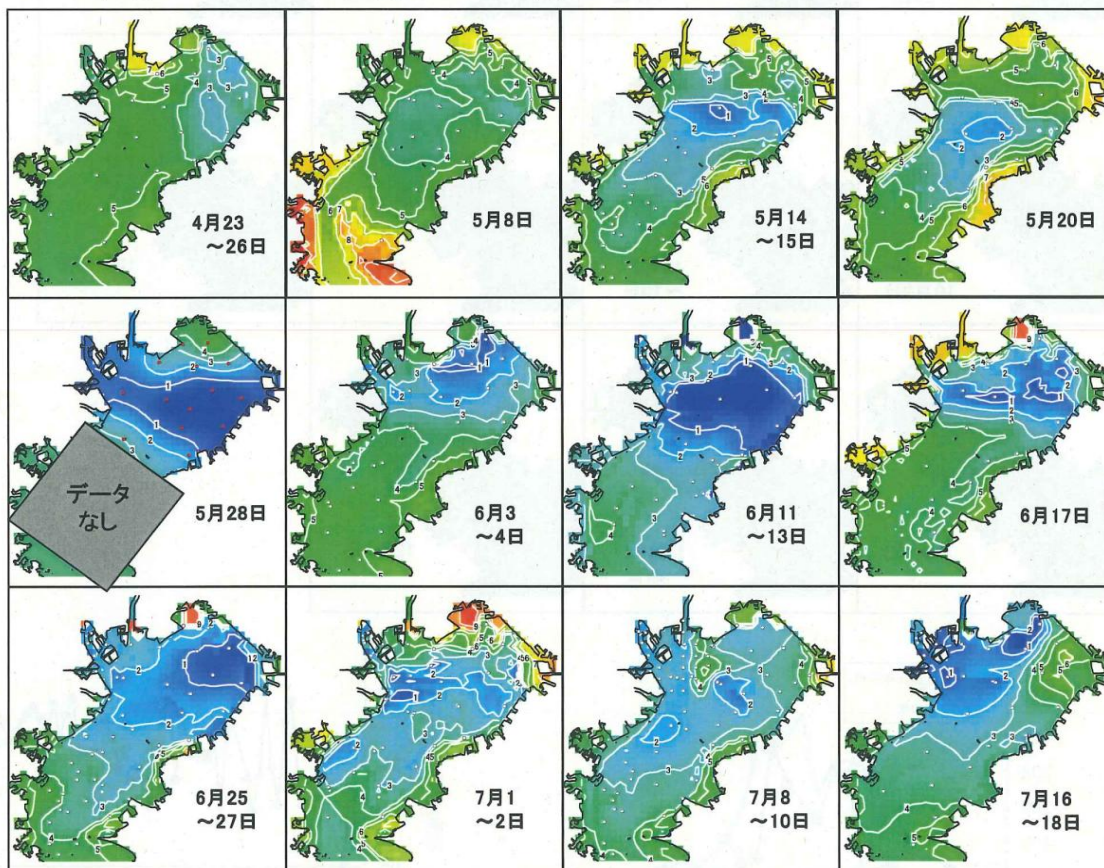


図1 底層の貧酸素水塊の分布

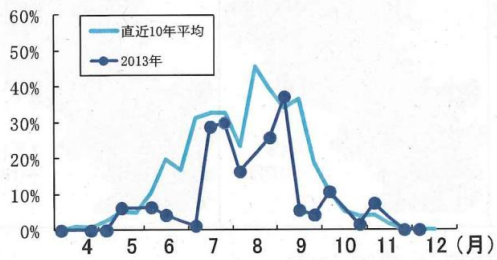
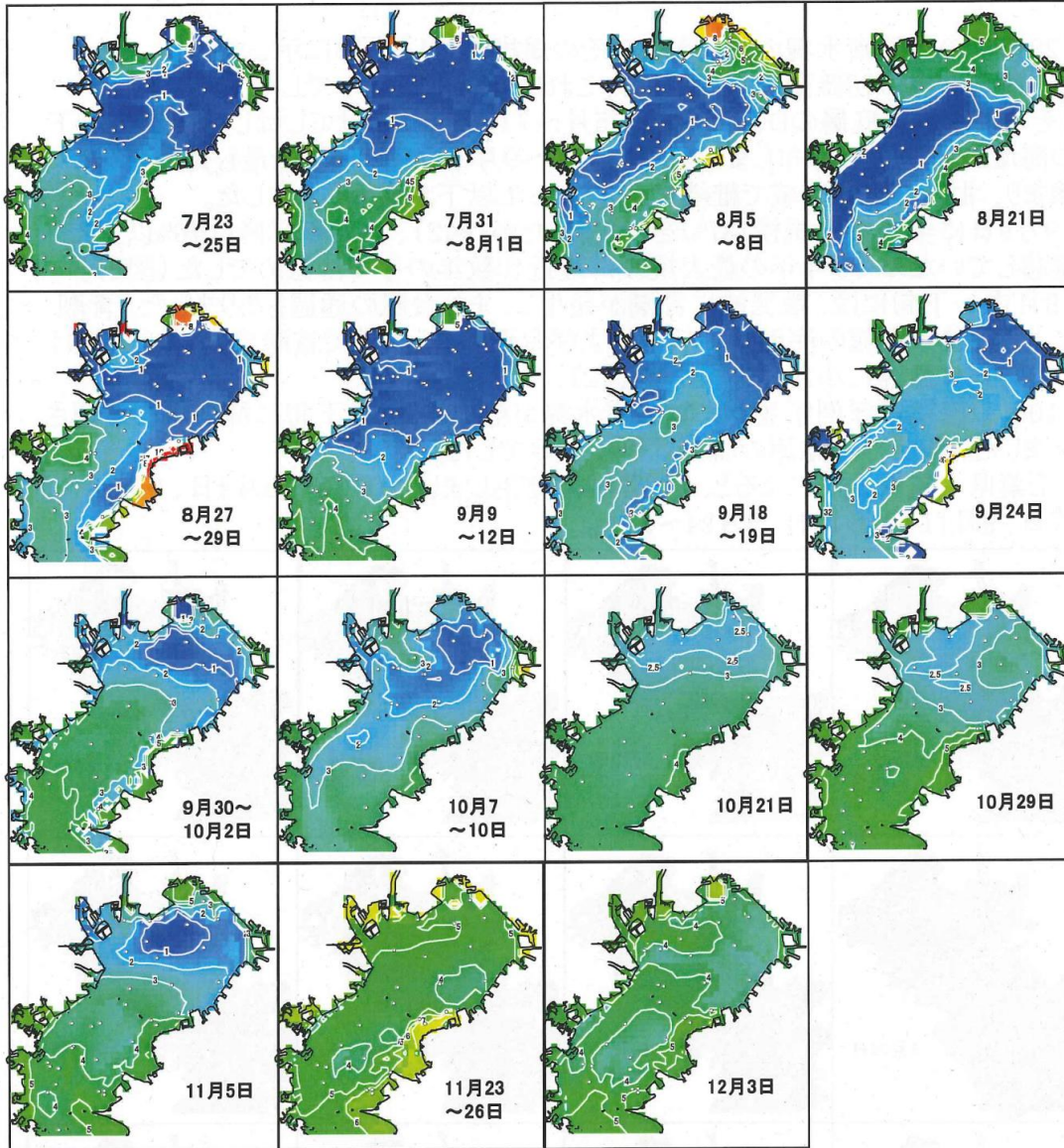


図2 貧酸素水塊の規模

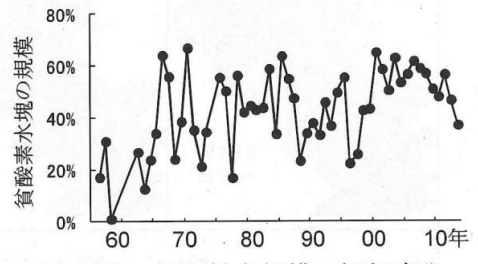


図3 年間最大規模の経年変化 (1955年~2013年)